

主な投稿論文・口頭発表等

1998.4 1998.11

投稿論文

Selective tumoricidal effect of soluble proteoglycan extracted from the basidiomycete, *Agaricus blazei* Murill, mediated via natural killer cell activation and apoptosis

藤宮芳章, 大志万浩一, 小堀英和, 森口宏一*1, 中島久子*2, 松本米蔵*2, 海老名卓三郎*3 (住友林業(株), *1大阪事業所, *2科学機器事業部, *3宮城県がんセンター)

Cancer Immunology Immunotherapy, 46, 147 - 159 (1998)

健康食品として知られているヒメマツタケの高度精製画分に著しい抗癌活性を有することを認め、そのメカニズムはアポトーシス(プログラム細胞死)であることを証明した。また、活性本体の構造は分子量380kDaの(1.6)-分岐を有する(1.4)-D-グルカン(組成比1:4)を主成分とする蛋白結合多糖体であることがわかった。

クリーンルーム空気品質管理

- 化学汚染物質によるトラブル解決 -

藤本武利, 竹田菊男*(エグゼクティブコンサルタント, *千葉事業所)

住友化学1998 - , 57 - 67 (1998)

クリーンルーム空気中の化学汚染物質の種類と分類, 測定方法と定量下限, 電子デバイス製造工程のトラブルとの関わり等について解説した。これらの汚染物質の中でも特にシロキサン化合物, フタル酸エステル, りん酸エステルの3種は, 極少量の存在でもトラブルの原因となるので厳密な管理と低減対策が必要である。

化学汚染の分析評価方法 クリーンルーム空気中の化学汚染物質について

藤本武利(エグゼクティブコンサルタント)

空気清浄, 36(2) 28 - 40 (1998)

空気中に飛散した分子状汚染物質の分析方法を紹介した。クリーンルーム雰囲気中, およびシリコンウェーハの表面あるいは密封剤, プラスティック等クリーンルーム構造材の原料に由来するガスが主な分析対象である。分析結果を踏まえて分子状汚染を考察した。

SPWCC '98参加報告

大澤公伸, 藤本武利*1, 中森光則*2 (栗田工業(株), *1エグゼクティブコンサルタント, *2東京エレクトロン九州(株))

ウルトラクリーンテクノロジー, 10(4)

333 - 336 (1998)

SPWCC '98において弊社竹田菊男と藤本武利がそれぞれ報告した内容についてまとめた。竹田は前処理濃縮ICP-MSによる極微量分析に, ホウ素の分析の場合と同様なMannitol添加が効果があることを報告した。また藤本は, クリーンルーム空気中とシリコンウェーハ表面の分析値から各化合物毎のSticking Probabilityを計算した結果について示した。

口頭発表等

用途広がるクリーンルーム利用技術と当面の課題

藤本武利(エグゼクティブコンサルタント)

熱産業界経済新聞社座談会(日比谷松本楼)

1998年4月2日

クリーンルーム構成材料及び樹脂材料からのアウトガス分析

野中辰夫, 竹田菊男, 中 日出夫, 藤本武利*(千葉事業所, *エグゼクティブコンサルタント)

第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(早稲田大学)

1998年4月17日

クリーンルーム空気及びウェーハ表面の有機物汚染挙動

坂本保子, 竹田菊男, 平 敏和, 野中辰夫, 広野耕一, 藤本武利*1, 諏訪延行*2, 大塚一彦*3 (千葉事業所, *1エグゼクティブコンサルタント, *2富士電機(株), *3ニッタ(株))

第16回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(早稲田大学)

1998年4月17日

化学材料のTOF-SIMS分析

畠山 晋, 佐渡 学(筑波事業所)

第20回表面科学研究会(成蹊大学)

1998年4月21日

Evaluation of Organic Contamination in Cleanroom and Deposition onto Wafer Surface

竹田菊男, 野中辰夫, 坂本保子, 平 敏和, 広野耕一, 佐渡 学, 藤本武利*1, 諏訪延行*2, 大塚一彦*3 (千葉事業所, *1エグゼクティブコンサルタント, *2富士電機(株), *3ニッタ(株))

第14回ISCCアリゾナ大会(米国, アリゾナ)

1998年4月30日

半導体製造プロセスにおける化学物質汚染について

藤本武利(エグゼクティブコンサルタント)

日本産業機械工業会・クリーンルーム委員会主催講演会(機械振興会館 東京)

1998年5月18日

シリコンウェーハ表面の有機物汚染の分析法

藤本武利(エグゼクティブコンサルタント)

リアライズ社主催半導体プロセスセミナー有機物汚染によるプロセス・デバイスへの影響(化学会館 東京)

1998年5月26日

Evaluation of Outgas from Cleanroom Construction Materials and Polymers

藤本武利, 竹田菊男*, 飯田裕幸*, 野中辰夫*(エグゼクティブコンサルタント, *千葉事業所)

第15回エアロゾル科学・技術研究討論会(埼玉大学)

1998年8月21日

クリーンルーム中の分子状汚染物質(AMCs)の分析評価方法

藤本武利(エグゼクティブコンサルタント)

分析化学会近畿支部大阪地区講演会(住友化学大阪工場)

1998年8月24日

クリーンルーム空気及びウェーハ表面の有機物汚染挙動

坂本保子(千葉事業所)

第124回クリーンテクノロジー研究会(一水会)(学士会館 東京)

1998年9月2日

紙の層構造観察および欠陥解析

末広省吾(大阪事業所)

表面分析・E P M A 合同研究懇談会(島津製作所 東京)

1998年9月9日

タンバク結合型生体試料前処理カラムの特長と応用例

西岡亮太(科学機器事業部)

第127回液体クロマトグラフィー研究懇談会(東京理科大学)

1998年9月16日

ヒトP450を用いる薬物代謝実験

鈴木 隆(技術本部)

第4回国際ボルフィリン・ヘムシンボジウム(米子コンベンションホール)

1998年10月3日

多孔質ガラス分離膜を用いた海洋中の炭素の分離と分析

伊藤 博, 中村勝雄, 長沢 浩*1, 鈴木 款*2 (科学機器事業部, *1(株)巴製作所, *2静岡大学)

日本分析化学会第47年会(岐阜大学)

1998年10月8日

紙, フィルム等における塗工層の欠陥と分析

末広省吾(大阪事業所)

色材協会関西支部主催色材講演会(大阪科学技術センター)

1998年10月23日

アルキル鎖を延長した低分子型光学活性固定相の逆相HPLCでの性能評価

西岡亮太, 加藤 大*1, 今井一洋*1, 福島 健*1, 中島憲一郎*2 (科学機器事業部, *1東京大学大学院, *2長崎大学)

第9回クロマトグラフィー科学会議(東京大学)

1998年11月20日

安定同位体標識標準物質(サロゲート)による分析精度保証

廣田政隆(大阪事業所)

'98HPCセミナー-残留農薬分析法(食品中)における最近の話題-(メルパルク東京)

1998年11月30日